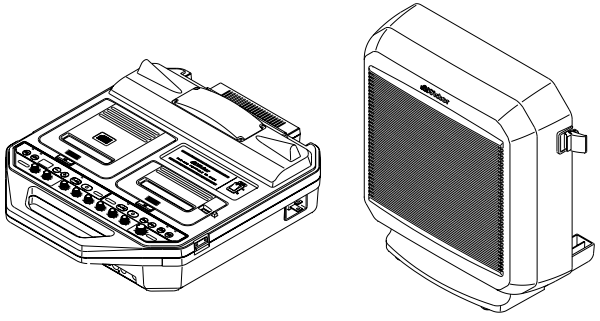
Victor

ポータブルPAパック

型名 PAE-400　取扱説明書



－お買い上げありがとうございます－

ご使用前にこの "**取扱説明書**" をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(3ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源を大切にしています。
この取扱説明書は再生紙（古紙100%）
を使用しています。

LST0095-001B

このたびは
ポータブルPAパック
PAE-400を
お買い上げいただき
ありがとうございます。

特長

■ 本機はCDプレーヤー、カセットプレーヤー、ワイヤレスマイク、有線マイクをオールインワンしたポータブルアンプです。

■ スピーカー部を本体から約10m離して、使用することもできます。

■ 別売りのチューナーユニットを1台追加組み込むことにより、2チャンネルのワイヤレスマイクを使用することができます。

目次

特長 2
安全上のご注意 3
取扱い上のご注意 4
ご使用の前に 5
各部の名称と動き 6
接続ジャック部の名称と働き 7
CDを演奏する 8
テープを演奏する 10
有線マイクを使用する 11
ワイヤレスマイクを使用する 12
ワイヤレスチューナーユニットの組み込み方 .. 12
故障かな？と思う前に 13
保証とアフターサービス 13
主な仕様 14
商品の廃棄について 14

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や、財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容が示されています。

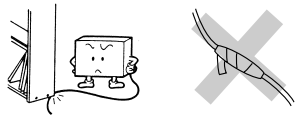
⃠ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。

⚠警告

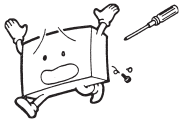
- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

⚠警告

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しはしない。
火災や感電の原因となりますので、おやめください。



- セット内部に触れない。
危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。



- セットの上面、底面、側面にある通風孔はふさがない。
内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。
- 通風孔からクリップ等の異物を挿入したり、水等の液体をこぼさない。
内部回路がショートし火災の原因になることがあります。
- 本機は日本国内専用です。
必ず商用電源 AC100V 50Hz/60Hz で使用する。

⚠注意

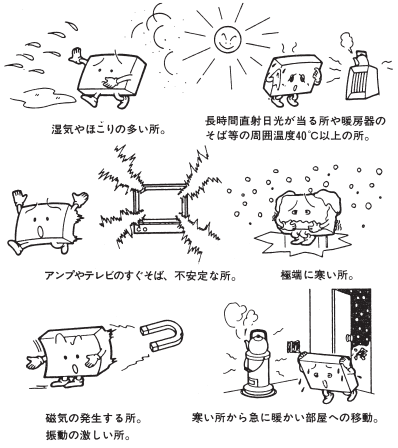
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに、かならずプラグを持って抜く。

- 電源コードはストップのマーク（黄色いマーク）以上は引き出さない。
断線など故障の原因となります。
また、無理に押し込まないでください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かない。
- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かない。
万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- 湿気の多い場所または油煙や湯気が当るような場所は避ける。
故障の原因となります。
- 窓をしめきった自動車の中や直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しない。
変形、変色、故障することがあります。

取扱い上のご注意

■使用(設置)・保管環境について

- 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、極端に寒い場所、湿気やほこりの多い場所は避けてください。
- 使用温度範囲は+5℃～40℃です。
+5℃以下の寒いところや、40℃以上の暑いところでは、内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。
- アンプやテレビの近く、磁気の発生する場所、振動の激しい場所、不安定な場所は避けてください。



■CDプレーヤー・カセットプレーヤーについて

- 次のような場合、露（水滴）がついて正しく演奏できない場合があります。このようなときは電源を入れ、約1～2時間待ってからご使用ください。
・暖房を始めた直後の部屋
・湯気や湿気の多い場所に置いてあるとき
・冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
- CDプレーヤーのレンズにほこりが付かないように、CDプレーヤーふたは必ず閉じておいてください。またレンズには手を触れないでください。
- CDプレーヤーを演奏するときは、他のチューナーやテレビから離してください。雑音や画像の乱れを生じることがあります。

■CD（コンパクトディスク）について

- 本機で使用できるCDは、右のマークが入っているものに限ります。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

本機ではCD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては動作や音質を保証できません。
CDを再生する際には「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

- ケースからの出し入れは、次のように行ってください。

センターホルダーを押さえ、演奏面に触れないように出す　　ラベル面を上にして、上から押さえて入れる

- CDを持つときは、必ずセンターホールと外周部分を持ってください。演奏面には触れないでください。

- ラベル面に紙などを貼ったり、字を書いたり、傷をつけないでください。
- CDは曲げないでください。

- CDに汚れやゴミがついたときは、水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。（必ず内側から外側へ拭いてください。）

- CDを長時間使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。また、直射日光が当たるところや暖房器具の近くには置かないでください。

■カセットテープについて

- テープを引き出したり、テープ面に触れたりしないでください。
- 保管するときは必ずケースに入れてください。また、磁気の影響を受けやすい場所（テレビの上など）には置かないでください。
- 120分テープは使用しないでください。一般のテープと比べて非常に薄くトラブルの原因となります。

■ワイヤレスマイク使用時

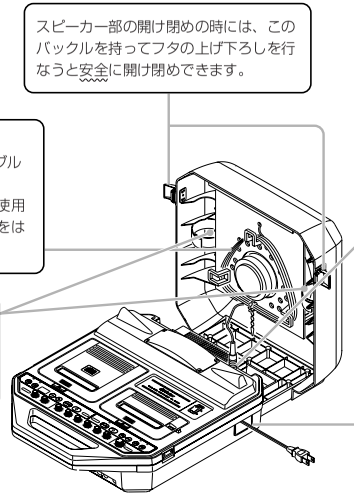
- ワイヤレスマイクの到達距離は、50 cm高の台上で見通し距離、約40 mです。使用時はできるだけ高い台の上に置いてください。
  また、チューナーユニットを2 台同時に使用する場合は、干渉を避けるため、ワイヤレスマイクと本機の距離を1 m以上離してください。

■本機のお手入れ

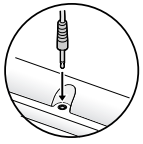
- 電源を切り、乾いた布でふいてください。
  ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、よく絞り、軽くふいてください。
  ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■長時間ご使用にならない場合は、省エネルギーのため電源スイッチを切ってください。

ご使用の前に



スピーカー部の開け閉めの時には、このバックルを持ってフタの上げ下ろしを行なうと安全に開け閉めできます。



スピーカーケーブル用巻き枠
3ヶの巻き枠にスピーカーケーブルを巻いて収納できます。
スピーカー部と本体を離してご使用のときは、この枠からケーブルをはずし約10mまで延ばせます。

スピーカーコードプラグ
十分に奥まで差し込んでください。

ワイヤレスマイク収納スペース（2本）
ワイヤレスマイク（別売）を収納できます。

電源コード取り出し口
電源コードを本体からまっすぐに出してください。
引くのをやめると、そこでロックします。
戻すときは少し引いて離すとリールに巻き取られて収納できます。

⚠ 注意
マークの位置以上に引き出さないでください。故障の原因になります。

ご注意
ご使用の時は必ずスピーカー部を開けるか、または離してください。
本体は水平でご使用ください。

各部の名称と働き

●ワイヤレスチューナー組み込み部
別売りワイヤレスチューナーユニットを組み込めます。（1台は組込み済）→ 12ページ

●CD操作ボタンと演奏表示
- ●再生/一時停止（►/❚❚）
- ●停止（■）
- ●選曲（＋、－）
  「ポン」と押すと選曲/押し続けると早戻し、早送りになります。
- ●再生/一時停止表示ランプ
  演奏中に点灯し、一時停止中に点滅します。 → 8ページ

●CD表示窓
ディスクを入れた最初の状態では総曲数を表示します。選曲ボタン（＋、－）を押すと、次に演奏するトラックナンバー（曲番号）が表示されます。
演奏中はトラックナンバー（曲番号）が表示されます。 → 8、9ページ

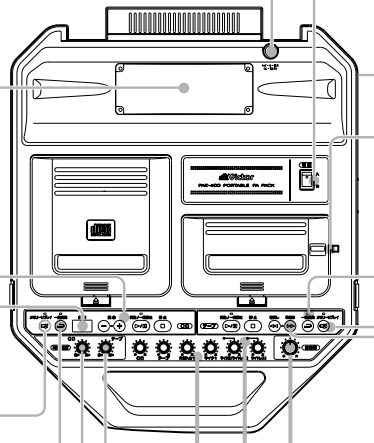
●メモリーリプレイボタンと表示ランプ
演奏中の好みの位置をメモリーしたいときに使います。 → 9ページ

●一曲演奏ボタンと表示ランプ
一曲のみ演奏し、停止させたいときに使います。 → 8ページ

●CD再生速度つまみ
CDプレーヤーの再生速度を調節します。
通常は中心のクリック位置で使います。
時計方向（右）に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。

●テープ再生速度つまみ
カセットデッキの再生速度を調節します。
中心のクリック位置で標準速度になります。
時計方向（右）に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。

●スピーカー出力
スピーカーコードプラグは十分奥まで差し込んでください。
コードをいためないためにプラグを持って抜き差ししてください。



●主音量調節つまみ
スピーカー音量を調節します。ライン出力を調節する時も使用します。

●受信表示ランプ
ワイヤレスマイク受信中に点灯します。→ 12ページ

● 音量調節つまみ
- ○ CD
- ○ テープ
- ○ 外部入力1
- ○ マイク1
- ○ マイク2/ワイヤレス2
- ○ ワイヤレス1

表示されている機器の音量を調節します。

ご注意
- 使用していない音量つまみは、最小に回しておいてください。

●電源スイッチ

●コード引き出し口
プラグをつかんで引き出してください。 → 5ページ

●テープカウンター
テープの走行量を表示します。

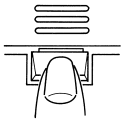
●リセットボタン
押すとテープカウンターが"000"になります。メモリーリプレイ時の頭出し位置となります。
→ 10ページ

●一曲演奏ボタンと表示ランプ
→ 11ページ

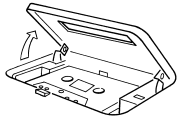
●メモリーリプレイボタンと表示ランプ
→ 10ページ

●カセット操作ボタン
▶/❚❚再生/一時停止ボタン
◀◀巻戻しボタン
▶▶早送りボタン
■停止ボタン

●CDフタの使い方 ●カセットテープフタの使い方

① 
ロックボタンを軽く押します。

②
一段目が
軽く開きます。

③ 
ロックするまで手で
大きく開けてください。

④ 閉める時はロックするまでフタの中央手前を指で押してください。

※図はカセットテープフタの例

接続ジャック部の名称と働き

●外部入力2（ステレオミニジャック）
ラジオカセッターなどの出力を接続します。モノラルになります。
（0dB,10kΩ,不平衡）

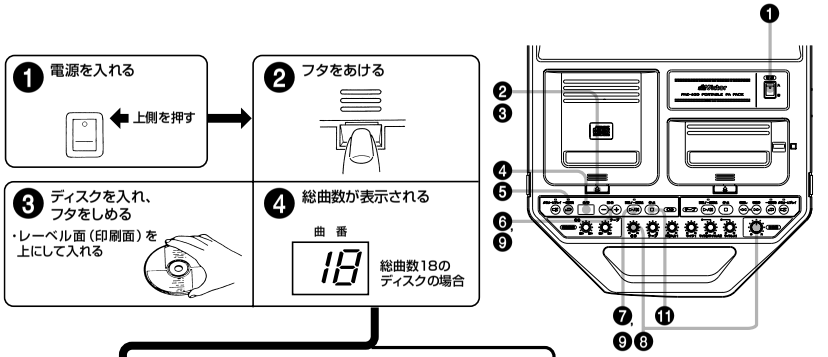
●有線マイク入力1,2
（複式フォンジャック）
有線マイクを接続します。
（−56dB,1kΩ,電子平衡）

ご注意
1台のカセットデッキの入力と出力を同時に接続しないでください。

●ライン出力（複式フォンジャック）
増設用アンプなどに接続します。
（0dB,200Ω,電子平衡）
放送室
ディスク型音響装置またはAV卓

●外部入力1（ピンジャック）
カセットデッキなどの出力を接続します。この時、モノラルになります。（−10dB,10kΩ,不平衡）

CDを演奏する（番号順に操作します）



❶ 電源を入れる
上側を押す

❷ フタをあける

❸ ディスクを入れ、フタをしめる
・レーベル面（印刷面）を上にして入れる

❹ 総曲数が表示される
曲 番
18
総曲数18のディスクの場合

一曲演奏するには

❺ 一曲演奏ボタンを押す
一曲演奏

❻ 選曲ボタンを押して選曲する
03
（例:3曲目を選曲した場合）
選曲

連続演奏するには

❼ 再生/一時停止ボタンを押す
演奏スタート、ランプ点灯
再生/一時停止

❽ 音量を調節する

演奏中に選曲するには

❾ 選曲ボタンを押して演奏したい番号を選曲する
・トラックナンバーを表示後、演奏がはじまります
選曲

一時停止するには

❾ 再生/一時停止ボタンを1回押す
再生/一時停止
← 点滅
・点滅し一時停止状態になります。

❿ 一時停止を解除するには再生/一時停止ボタンをもう一回押す

今の演奏曲をやり直すには

❾ 選曲ボタン（−）を「ポン」と1回押す
選曲

⓫ 停止ボタンを押し演奏を停止する
停止

ご注意
ディスクを交換するときは、必ず停止（■）ボタンを押してディスクの回転が完全に止まってから取り出してください。

CD演奏の便利な使い方

■サーチ演奏

●演奏中に早送りや早戻しで好みの位置を探すことができます。

- 早送りする時は選曲の⊕ボタンを押し続けます。
- 早戻しをする時は選曲の⊖ ボタンを押し続けます。
  このとき早戻しや早送りの音が小さな音（演奏中の約1/4の大きさ）で聞こえますので、この音をモニターしながら希望のところで指を離します。

■メモリーリプレイ演奏

●好みの位置から何回も演奏するには…

① 再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押し演奏します。
② 繰り返し聞きたい好みの位置にきたらメモリーリプレイボタン（⊂⇄）を一度押します。
［表示ランプが点灯します。］
③ 停止ボタン（■）を1回押し、停止してから再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押すとメモリー位置から演奏されます。
④ メモリーの解除は、メモリーリプレイボタン（⊂⇄）をもう一度押してください。通常の演奏状態に戻ります。
［表示ランプは消灯します。］

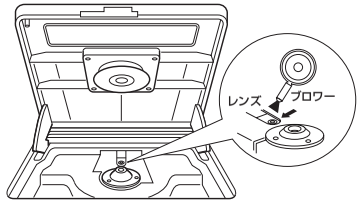
お 願 い

- CDにゴミやキズが付いていたり、裏表を逆に入れたときは、図のように表示されることがあります。
  このようなときはディスクの裏表を確かめて入れ直すか、掃除したり交換してみてください。
- CDを演奏するときは、温度があまり高くならない所（なるべく5℃～35℃の範囲）でお使いください。
  またCD操作部は必ず平らに置いて使用してください。
- 演奏が終わったらCDを取り出し、CDプレーヤーフタを閉めておいてください。
- CDの内容によっては音とびを起こすことがあります。このようなときは、スピーカーを遠ざけてください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、振動の多い所で使用すると、音とびを起こすことがあります。このような所での使用は避けてください。
- 曲を選曲してから曲の頭を見つけるまでは表示窓のトラックナンバーは点滅しますので、選曲ボタンを押したとき表示が消えている場合があります。

CDプレーヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは音飛びなどの演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。



- 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

テープを演奏する（番号順に操作します）

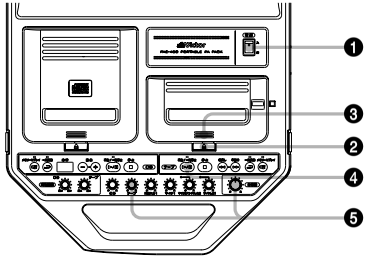
❶ 電源を入れる
上側を押す

❷ カセットテープフタを開ける

❸ テープを入れてカセットテープフタを閉める
ここを押す

❹ 再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押す
→演奏スタート

❺ 音量を調節する。



ご注意

- クロームテープやメタルテープ、またドルビー等の雑音低減回路を使用して録音されたテープを再生すると聞きづらい音になりますので、使用しないでください。
- 120分以上のテープは薄くつくられており、ピンチローラーに巻きつく恐れがありますので使用しないでください。

■演奏を停止するには

停止ボタン（■）を押してテープを止めます。

■演奏を一時停止するには

再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押します。
テープは一時停止し、再生/一時停止表示ランプが点滅します。
さらにもう一度押すとテープがスタートし、演奏を再開します。

テープ演奏の便利な使い方

■頭出し　曲の頭出しを行ないます。

① 今聞いている曲の頭出しをする。
再生中に巻戻し（◄◄）ボタンを押す。
① 次の曲の頭出しをする。
再生中に早送り（►►）ボタンを押す。
② 頭出しができると自動的に再生が始まります。
★ 何曲か飛び越したい時は、①②を繰り返します。

■メモリーリプレイ演奏　同じところからくり返し聞けます。

① メモリーリプレイボタン（⊂⇄）を押すと表示ランプが点灯します。
② 再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押して演奏します。
③ メモリーリプレイの開始位置でカウンターのリセットボタンを押して“000”にします。
④ 停止ボタン（■）を押してから巻戻しボタン（◄◄）を押します。カウンターの数字が“999”になると、再び再生が始まります。
⑤ メモリーリプレイボタン（⊂⇄）をもう一度押して終了します。［表示ランプは消灯します。］

ご注意

メモリーリプレイ時早送りボタン操作では早送り状態になり、カウンターが“999”になっても再生状態にはなりません

■一曲演奏　同じ曲をくり返し聞けます。

① 一曲演奏ボタン（↻）を押すと表示ランプが点灯します。
② 再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押して演奏します。
③ 曲の終わりになると自動的に巻き戻して、その曲の頭出しを行い、停止します。
④ 再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押して演奏します。（モードを解除するまでくり返し操作できます）
⑤ 一曲演奏ボタン（↻）をもう一度押して終了します。［表示ランプは消灯します。］

ご注意

次のような場合、頭出し、一曲演奏が正常に動作しないことがありますが、故障ではありません。

・音楽でピアニッシモの部分（音が非常に小さい部分）が長く続く曲や、曲中に無録音部分があるものやスピーチのテープ
・曲間（無録音部分）が短い（4秒以下）テープ
・曲間（無録音部分）に大きな雑音（ハム）が録音されているテープ

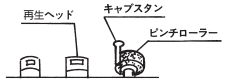
お手入れ

○ ヘッド部・ピンチローラー・キャプスタンの清掃について

- ヘッド部とキャプスタン・ピンチローラーは常にテープが接触して走りますから、磁粉やゴミ、ホコリなどが付着してよごれてきます。よごれがひどくなると
- 音質が悪い。
- 音が小さい

などの症状がでます。症状がでてくる前に、定期的（約10時間使うごと）にヘッド部を清掃してください。

- カセットホルダーを開け、クリーニングキットでヘッド部やピンチローラー・キャプスタンの清掃をします。



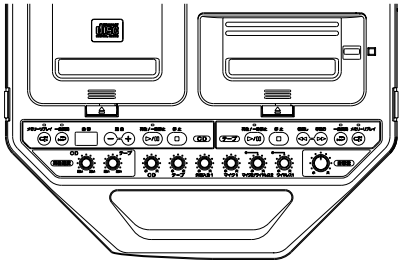
綿棒にクリーナー液をしみ込ませヘッドやピンチローラー・キャプスタンなどのよごれを拭きとります。
なお、内部についたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。

有線マイクを使用する

① 電源を入れます。
② 有線マイク１か有線マイク２に、マイクのプラグを差してください。
③ マイクを接続した音量調節つまみを回して適切な音量にしてください。
★ 有線マイク２とワイヤレスマイク２の音量調節つまみは兼用です。

お願い
マイクロホンとスピーカーの距離を離してください。
お互いに近くでお使いになりますと、ハウリング（キーンという発振音）が起きやすくなります。

ワイヤレスマイクを使用する



ご注意

- 本機のすぐ近くに電気雑音を発生する機器がありますとワイヤレスマイクの音がとぎれることがあります。このようなときはワイヤレスマイクと本機を近づけるか、本機の設置場所を変えてお使いください。
- 屋内等でワイヤレスマイクを移動しながら使用しますと、電波の反射や干渉によって急に音がとぎれる場所があります。これをデットポイントといいます。
  デットポイントを解消するためには本機を金属製の机、ロッカー等から離すか、設置場所を1m～2m移動してください。

■ワイヤレスマイクの使用方法

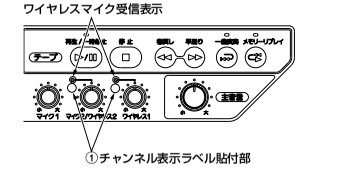
- ワイヤレスマイク1　は工場出荷時にワイヤレスチューナーユニットが組み込まれていますので即、使用可能です。2本目のワイヤレスマイクを使用するには別売りのチューナーユニット“**WT-UD84**”の組込みが必要です。ワイヤレスチューナーユニットの組込み、受信チャンネル設定は販売店もしくはビクターサービス窓口へご相談ください。
- ワイヤレスマイクの送信チャンネルとチューナーの受信チャンネルを合わせてください。
  （組込み済のチューナーユニットの受信チャンネルはグループ3チャンネル1になっています）
  ワイヤレスマイクの送信チャンネル設定については、ワイヤレスマイクの取扱説明書をご覧ください。

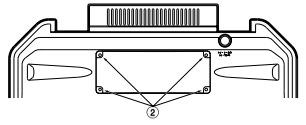
ワイヤレスチューナーユニットの組み込み方

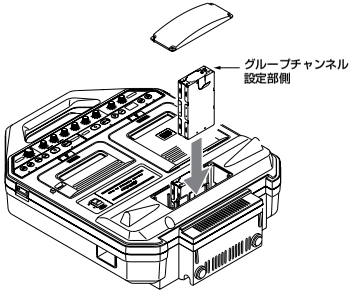
- **事故防止のため、必ずお買い上げの販売店もしくはビクターサービス窓口へご依頼ください。**
- チューナーユニットを組込む時は、必ず電源コードを抜いてください。ショートや感電の恐れがあります。

■WT-UD84を組み込む

（1）チューナーユニットの取扱い説明書に従ってチャンネルを合わせる。（2 台の時は同グループの異なるチャンネルへ合わせる。）
チューナーユニットの動作モードを「通常」モードに設定する。
（2）チャンネルラベルを本体の①の場所へ貼る。
（3）チューナーユニット組込部フタのネジ４ 本②をはずして開ける。
（4）組み込まれている1 台目のチューナーユニットに合わせて、チューナーユニットを挿入し、奥のコネクタに確実に差し込む。チューナーユニットの上下をまちがえないように注意する。（図を参照）
（5）正しく受信することを確認し、フタを閉める。







故障かな？と思う前に

おや？故障かな？と思ったら……
修理を依頼される前にちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処置・確認のしかた	参照ページ
電源が入らない。	●電源コードが抜けている。	●電源コードを確実に差し込む。	−
テープの再生音が小さい。	●レベルが小さい。	●各音量つまみをセンター以上に回す。	10
	●ヘッド部が汚れている。	●ヘッド部を定期的に掃除する。	11
CD演奏がされない。	●ディスクが裏返しになっている。	●レーベル面が上になるように正しくのせる。	8
	●ディスクが汚れている。	●柔らかい乾いた布で演奏面を掃除する。	4
	●レンズに露がついている。	●電源を入れ、約1～2時間待つ。	4
スピーカーから音が出ない。または小さい。	●スピーカーコードが抜けている。	●スピーカーコードを確実に差し込む。	5
	●主音量調節つまみが絞ってある。	●主音量調節つまみを右に回す。	6
有線マイクの音が出ない。	●マイクコードが抜けている。	●マイクコードを確実に差し込む	7
ワイヤレスマイクの音が出ない。	●適合ワイヤレスマイク以外を使用している。	●適合ワイヤレスマイクを使用する。	−
	●マイクとチューナーのチャンネルが合っていない。	●マイクとチューナーのチャンネルを合わせる。	12

保証とアフターサービス　*（必ずお読みください）*

1. 保証書の記載内容のご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

2. 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間、保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。
その他詳細は保証書をご覧ください。

3. 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料で修理致します。

4. アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明の点はお買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

●修理を依頼されるときはお買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

・ポータブルPAパック
・**PAE-400**
・お名前とおところ
・電話番号
・故障症状(詳しく)

本機を改造しないでください。
故障などの原因になります。

主な仕様

本機ならびに関連商品の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

最大出力	25W（定格出力15W）　（0 dB=0.775 V）
スピーカー	20cmコーン型、4Ω
歪率	5%以下（外部入力、1kHz、定格出力時）
入力回路	マイク×2：−56dB、1kΩ電子平衡、複式フォンジャック 外部入力1：−10dB、10kΩ　ピンジャックL,R（モノラルミックス） 外部入力2：0dB、10kΩ　ステレオミニジャック（モノラルミックス）
出力回路	スピーカー：+20dB、（15W）、4Ω　フォンジャック（モノラル） ライン出力：0dB、200Ω電子平衡　複式フォンジャック
CD プレーヤー	再生/一時停止、停止、選曲（+/−） 早送り、早戻し、一曲演奏、メモリーリプレイ、速度調節（±10%）機能付
カセットプレーヤー	2トラックモノラル、 再生速度調節（+8%、−10%）、頭出し、一曲演奏、メモリーリプレイ、 フルオートストップ機能付
ワイヤレスチューナー	1台目：組込み済 2台目：別売りの組込み追加チューナーユニットWT-UD84　1台組込み可能
電源	AC100V、50Hz/60Hz
消費電力	30W
外形寸法	幅354 mm×高さ210 mm×奥行436 mm
質量	6.8kg（チューナーユニットを含む。）
動作温度	+5℃～+40℃
添付物	取扱説明書 ..... 1 ビクターサービス窓口案内 ..... 1 保証書 ..... 1 チャンネルラベル 1

商品の廃棄について

● この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

PAE-400　ポータブルPAパック

お客様ご相談センター

東　京	大　阪
☎ (03)5684-9311［代表］ FAX (03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	☎ (06)6765-4161［代表］ FAX (06)6765-4891 〒550-0013 大阪市西区 新町3-1-31 新町レナウンビル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（0426）60-7203

〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町2-1-1（田辺ビル）　電話（03）3663-9054

© 2003 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

LST0095-001B